

令和3年12月9日14時00分
資料配布 近畿地方整備局・木津川市

河川氾濫による浸水リスクの『見える化』を向上 ～まるごとまちごとハザードマップの高度化の試行～

淀川河川事務所では、これまで、まるごとまちごとハザードマップを設置し、住民の方々の浸水リスク把握や防災意識向上の取組を行ってきましたが、昨今の浸水被害を踏まえ、また「流域治水」の観点から、関係機関の協力の下、住民の方々の更なる意識向上に向け、木津川市で、まるごとまちごとハザードマップを高度化した「見える化」の向上を試行します。

木津川市では、平成25年、29年と市役所周辺で内水被害が発生し、これまで内水排除施設の整備や多機関連携型タイムラインの作成など、ハード、ソフトともに治水対策が進められており、令和3年6月には市役所周辺の電柱に浸水リスクを大きく表示する取組を実施しました。

淀川河川事務所としては、これまで沿川自治体の防災意識の向上にむけた取組として、防災訓練や勉強会の開催、まるごとまちごとハザードマップの整備の支援等を行ってきましたが、「まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き」に基づく浸水表示は、想定最大の浸水深のみとなっています。

今回は、木津川市役所周辺の2地区において、住民の方々の更なる意識向上に向け、過去の実績浸水深や避難に活用するポータルサイトの二次元バーコードを付した表示を行います。

また、設置にあたっては、「流域治水」の考えに基づき様々な管理者が協力し、電柱だけでなく、市の歩道橋や照明柱も含め、計30箇所において表示する予定としております。

◆施工箇所:木津川市役所周辺の電柱等(別紙参照)

◆施工期間:12月13日(月)～1月31日(月)までに電柱や照明柱の施工を完了予定

※来年1月31日に施工完成のセレモニーを予定しており、改めて記者発表を行います。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、学研都市記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
副所長 善本 隆典(内線206) 調査課長 田中 優太(内線351)
電話 072-843-2861(代表)

国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所
副所長 尾下 嘉春(内線205) 保全対策官 田中 元洋(内線307)
電話 075-351-3300(代表)

木津川市 危機管理課長 高橋 和雄(内線302)
電話 0774-72-0501(代表)

まるごとまちごとハザードマップの高度化について

平成18年から洪水ハザードマップの更なる普及浸透、住民等の水害に対する危機意識の醸成、避難所等の認知度の向上を図ることを目的として、生活空間である“まちなか”に水防災にかかる各種情報を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の取組を推進し、平成29年にはJIS規格に合わせた記号に変更するとともに、洪水だけでなく、内水や高潮も含めた凶記号を用い、実施の手引きも更新され、全国で浸水表示を展開しています。淀川管内でも継続して、年間約60箇所程度設置を進めています。

今回実施する浸水リスクの「見える化」は、まるごとまちごとハザードマップをさらに分かりやすく、実際の浸水深が一目でわかるように工夫することで設置後も浸水リスクをより多くの住民に理解してもらうとともに、二次元バーコードにより京都府や木津川市の防災サイトや川の防災情報にアクセスできるサイトに接続が可能となるため、まるごとまちごとハザードマップの「高度化」とし、淀川河川事務所として試行するものとなります。

試行にあたり、木津川市の地元自治会及び関係機関と調整し、次の世代に浸水リスクを知ってもらうことを重視し、まちなかでも人通りが多い、通学路や主要道路近辺に設置することとしています。

●表示内容

- 木津川想定最大の浸水深
- 平成25年の実績浸水深
- ポータルサイトの二次元バーコード

●表示箇所（木津川市木津町区及び本町東区）

関西電力の電柱	20本
木津川市の照明柱	2本
木津川市の歩道橋	1箇所
木津川市施設の壁面	2箇所
京都国道事務所の照明柱	5本

合計30箇所に表示

令和4年1月31日（月）に本取組完了のセレモニーを木津川市木津交差点付近で予定しております。開催の詳細については、改めて記者発表を行います。

- ・洪水ハザードマップの更なる普及浸透、住民等の水害に対する危機意識の醸成、避難所等の認知度の向上を図ることを目的として、生活空間である“まちなか”に水防災にかかる各種情報を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の取組を推進。
- ・これまでのまるごとまちごとハザードマップでは、表示箇所が小さいため、昨今の全国的な災害を踏まえ、さらに危機意識を醸成するため、高度化した浸水表示を実施。

標準的な まるごとまちごとハザードマップ



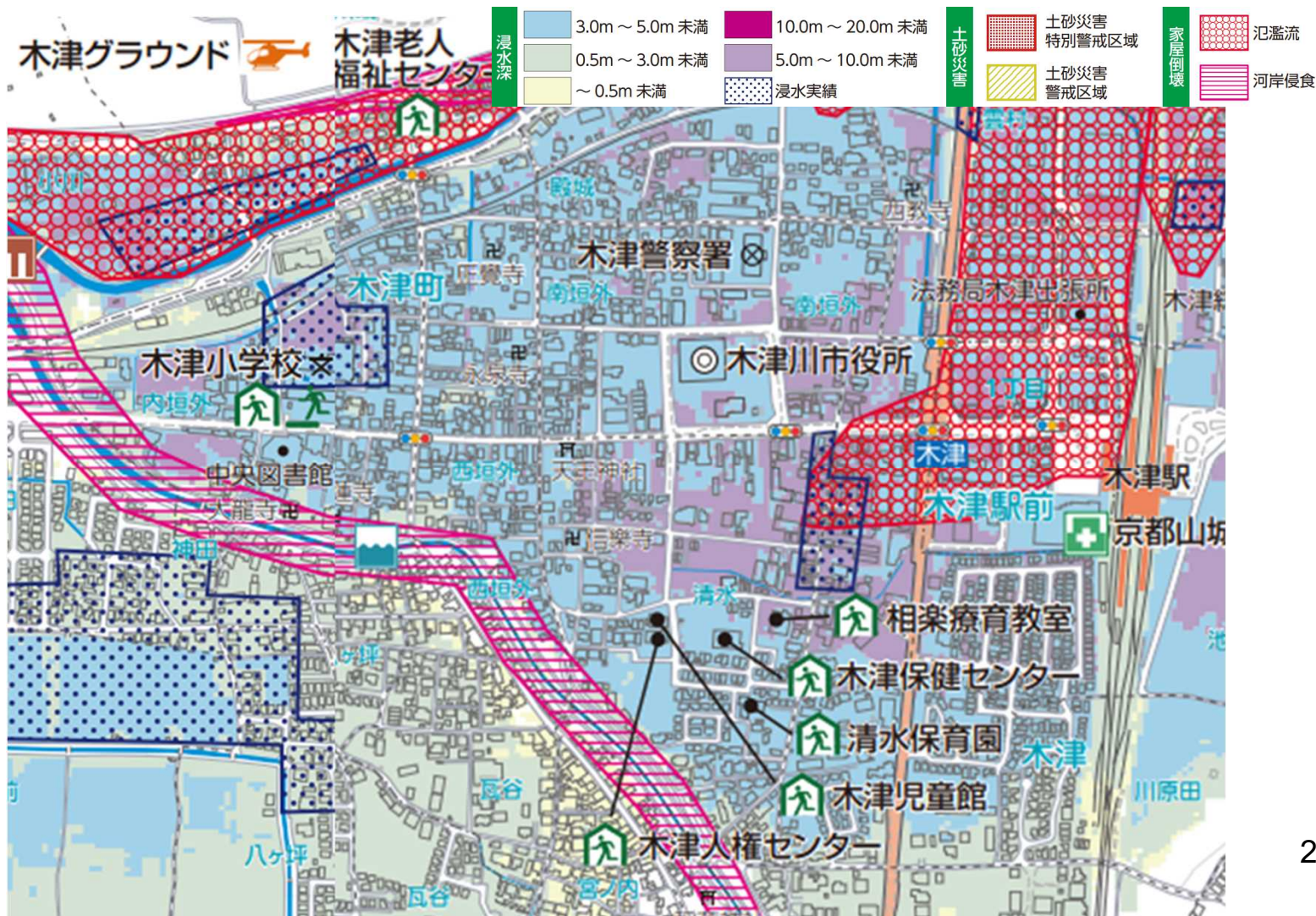
木津川市役所周辺の高度化した まるごとまちごとハザードマップ



木津川氾濫による浸水リスクをの『見える化』を向上

・木津川市では、木津川が氾濫した場合、木津川市役所周辺は5m以上浸水する区域となり、平成25年、29年にも内水被害による浸水が発生。

①:設置候補箇所



木津川氾濫による浸水リスクをの『見える化』を向上

- ・木津川市役所周辺には、すでに市役所で整備していることを踏まえ、JR木津駅～国道24号～木津川市市役所～木津小学校付近に面的に30箇所の浸水表示を行い、地域の防災意識の向上を目指す。
- ・地元自治会からは、小学校での防災教育の推進に向け、特に通学路周辺に整備を要望。



木津川氾濫による浸水リスクをの『見える化』を向上

・表示箇所は、電柱・歩道橋・幼稚園の壁面・照明柱に設置し、河川管理者と自治体だけでなく、道路管理者や保育部局も含め、あらゆる関係者が協力した流域治水対策として事業を実施。



電柱表示



JR木津駅前照明柱表示



木津小学校前歩道橋表示

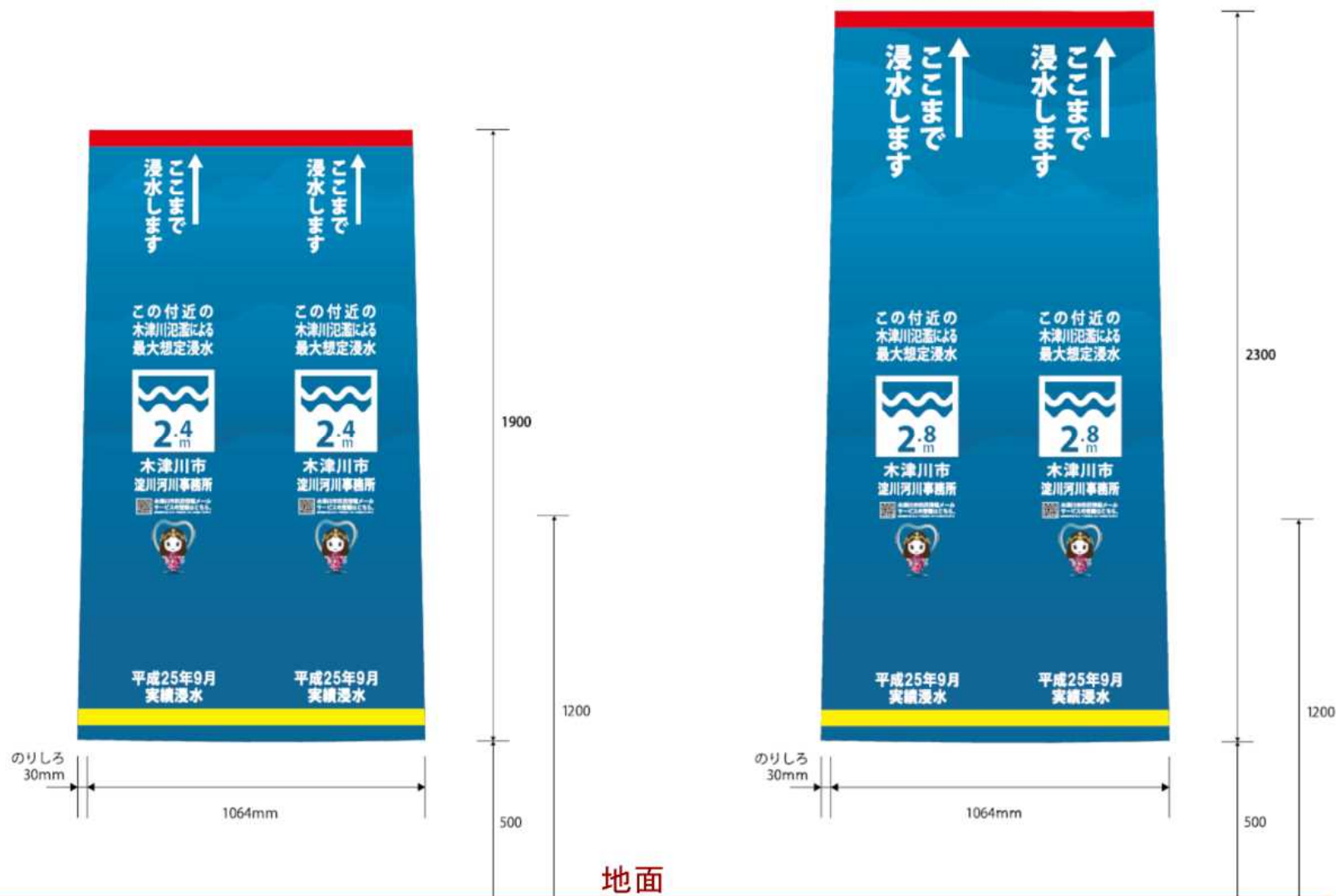


国道24号照明柱表示

木津川氾濫による浸水リスクをの『見える化』を向上

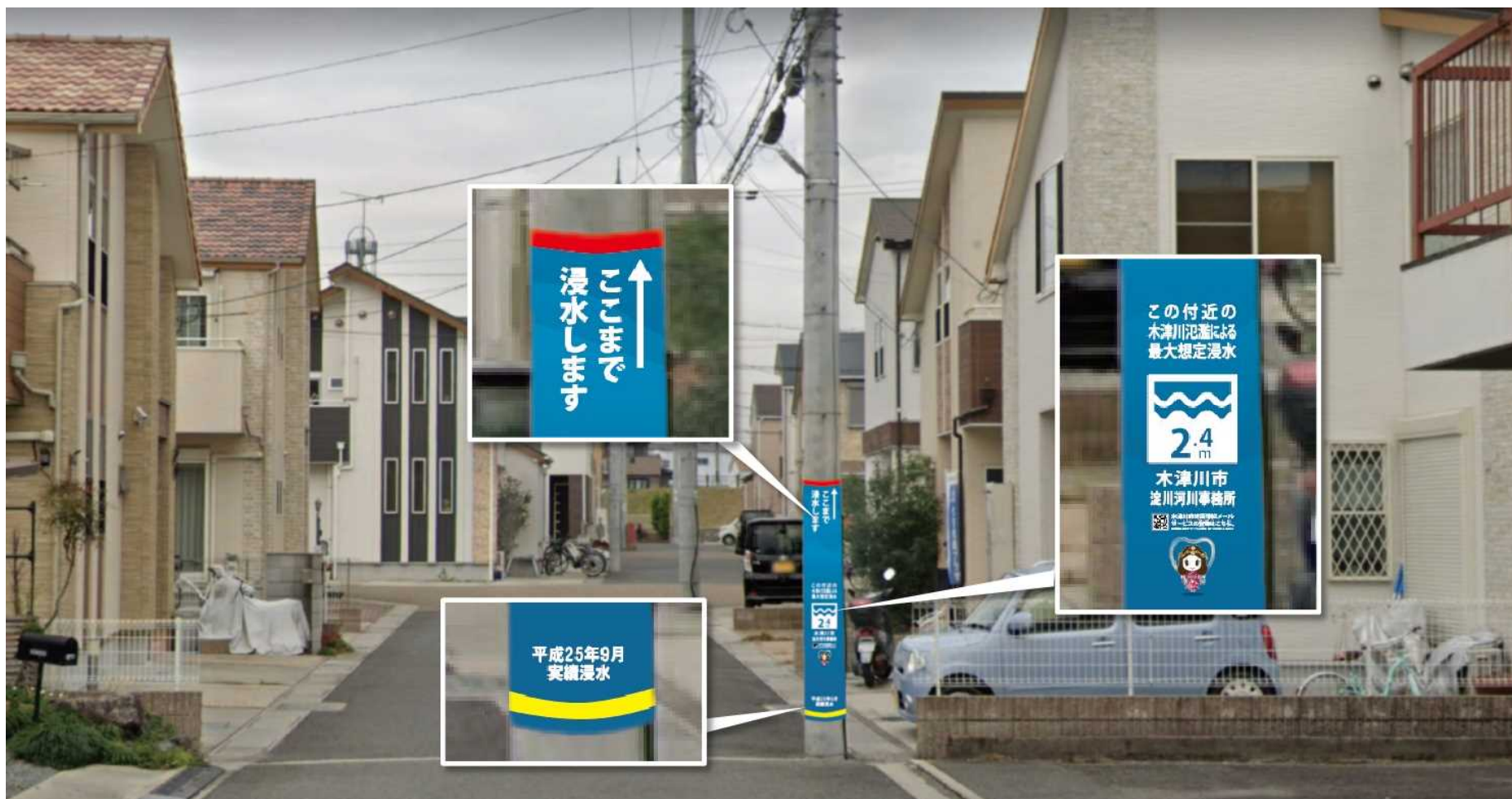
最大規模浸水深: 2.4m

最大規模浸水深: 2.8m



木津川氾濫による浸水リスクをの『見える化』を向上

整備イメージ(木津町住宅街)



木津川氾濫による浸水リスクをの『見える化』を向上 整備イメージ(国道24号沿)

最大規模浸水深:4.8m



木津川氾濫による浸水リスクをの『見える化』を向上

整備イメージ(木津交差点)

